

# 光星きょう市尼崎戦

# 仕上がり万全 闘志



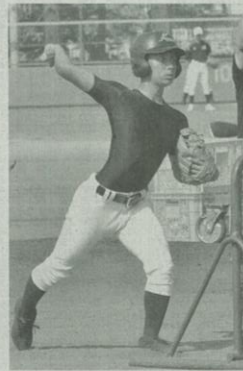
初戦に向けた最後の練習を終え、仲井宗基監督(右)からアドバイスを受ける光星ナイン=8日、兵庫県伊丹市の伊丹スポーツセンター

兵庫県西宮市の甲子園球場で開かれている第98回全国高校野球選手権で、青森県代表の八光星は9日の第3日第1試合(午前8時開始予定)に登場し、地元代表の市尼崎との初戦に臨む。

8日は午前8時ごろから、同県伊丹市の伊丹スポーツセンターで最後の練習を終え、仲井宗基監督(右)からアドバイスを受ける光星ナイン(左)。

「一度も青森県はもたえなかったけれど、レベルの高いチームでやれて悔いはありません。八光星3年の佐藤亮介(三井出)は練習メニューとして、関西入りしたチームに同行、打撃練習時の投手や守備員としてサポートしている。兄が高校野球OB。」「自分も実績ある光星に入り、甲子園に出たい」と同じ門をたたいた。待ち受けていたのは、全国各地から集まる精鋭との競争だった。

## 練習メンバーの佐藤(三井出)



### 最後まで全力サポート

「全国制覇をかなえるため、自分にできることを全力でする」。強い決意でチームをサポートする佐藤亮介。

「自分も実績ある光星に入り、甲子園に出たい」と同じ門をたたいた。待ち受けていたのは、全国各地から集まる精鋭との競争だった。

「一度も青森県はもたえなかったけれど、レベルの高いチームでやれて悔いはありません。八光星3年の佐藤亮介(三井出)は練習メニューとして、関西入りしたチームに同行、打撃練習時の投手や守備員としてサポートしている。兄が高校野球OB。」「自分も実績ある光星に入り、甲子園に出たい」と同じ門をたたいた。待ち受けていたのは、全国各地から集まる精鋭との競争だった。



OBの坂本勇人(巨人)から届けられたTシャツ。同じ伊丹シニア出身の益田教成も「かっこいい」とお気に入り

「全国制覇をかなえるため、自分にできることを全力でする」。強い決意でチームをサポートする佐藤亮介。



生徒応援隊も甲子園へ出発  
第98回全国高校野球選手権に青森県代表として出場する八光星ナインを応援する甲子園に到着する生徒応援隊は野球部、チアリーディング部、吹奏楽部のほか、3年ら計20名で構成し、スタンドからチーンを飛ばす。

八光星ナインに声援を送るため学校を出発した応援隊=8日午前、八戸市

約160枚を贈った。黒地に金色の刺繍が入ったTシャツ。同じ伊丹シニア出身の益田教成も「かっこいい」とお気に入り

「熱い応援で勝利を引き寄せてほしい」と出発する応援隊を激励。生徒代表は、チアリーディング部長の佐藤夏海さん(2年)が「精いっぱい応援して第2隊ハットをつなぎます」と力強く述べた。

応援隊は、カンパレ光星ナインとのメッセージを掲げたバスに乗り、同送りの生徒や教員の手を振って校舎を後にした。

(福原麻理乃)

⑫真田駿(3年)＝東京・千川中出



甲子園だより

7、8日と守備練習をしましたが、ミスするところもなくなせました。甲子園出場が決まっただけでも練習を積んできたので、体がよく動

大舞台 勇敢に戦いたい

暑い日が続いていますが、体は徐々に慣れてきました。練習から宿舎に戻ると、自由時間はしっかり休んで疲れを取っています。リオデジャネイロ五輪をニユースで見ますが、競泳で2人の日本人選手が表彰台に上がったのはすごいと思いました。自分たちも甲子園の大舞台で、青森県代表として、日本代表の選手のように勇敢に戦いたいです。

打力に勝る光星優位

見どころ

【1回戦】

▽第1試合(8時)

八学光星―市尼崎(兵庫)

庫)

春夏連続出場の八学光星

と、33年ぶりの度目の市尼

崎が激突する。青森大会の

チーム打率が3割7分5厘

の光星に分がある。

1番伊藤慶平は打率5割

6分を誇り、中軸の田城飛

翔、益田敦成、花岡小次郎は長打力がある。6番の小林直輝も勝負強く、下位まで切れ目がない。

市尼崎の主戦右腕平林弘

人を攻略するためには、右

打者の内角に食い込むシュ

ート回転気味の直球、低め

の変化球の見極めが鍵となる。後足の伊藤や田城を中心に、機動力でも描き取りをかけた。

投手陣の軸は主戦の櫻井

一樹と和田悠弥の両右腕

だ。

櫻井は直球とスライダー

の低めへの制球、和田はストライク先行のテンポの良さが信条。兵庫大会で2割3分7厘という市尼崎打線だが、最少失点にとどめて攻撃につなげたい。

市尼崎は平林を中心とし

た粘り強い守りでリンスを

つくり、甲子園に駒を進め

た。兵庫大会と同様に、ロ

ースコアの接戦に持ち込め

るかがポイントとなる。

(林泰輔)